

3/2(日) 迫水小グリーンワールドで親子が記念植樹



土手の斜面で作業をする親子

迫水小学校（田中真治校長）の全児童 54 人とその保護者が、PTA 授業参観日に運動場の南側斜面約 3,600 平方メートルを活用した「迫水グリーンワールド」に記念植樹を行いました。

ハナノキ、トチノキ、ムク、ヒメシャラ、ヤマモミジ、リンゴ、クリ、ブルーベリーの計 8 種類、約 80 本の木の中から、児童ひとりにつき 1 本の木が親子によって植えられました。

参加した親子は、土手の斜面の草をかき分けて穴を掘り、木を植えた後にそれを支える木枠を立てるといった大変な作業を、力を合わせて行っていました。木を植えた後は、それぞれの児童が木のそばに自分の名前とともに将来の夢などを書いた杭を立て、植えた木への願いを込めました。

また、植樹には熊本森林管理署、菊池森林事務所、菊池地域振興局林務課、菊池森林組合、坂本樹苗園、学校評議員など、多くの皆さんが協力しました。ご協力ありがとうございました。

3/5(水) 赤星智さんが緑化環境美化功労者として知事表彰を受賞



花壇の整備をする赤星さん（上写真）と表彰状を受け取る赤星さん（右写真）

赤星智さん（菊池 茂藤里）が、平成 19 年度緑化環境美化功労者として知事表彰を受賞し、賞状と記念品の伝達がありました。

平成 12 年から国道 387 号の植樹帯に花壇をつくり、除草や清掃、花苗植え、施肥作業をほぼ毎日 1 人で行うなど、積極的に環境美化活動に取り組んでいることが評価されたものです。赤星さんは、菊池市内で花を植えている人たちとの情報交換をするのが楽しみで、「通行する人たちから声をかけられるのが励みになる」と、毎日楽しみながら四季折々の花を育てています。

受賞、おめでとうございます。

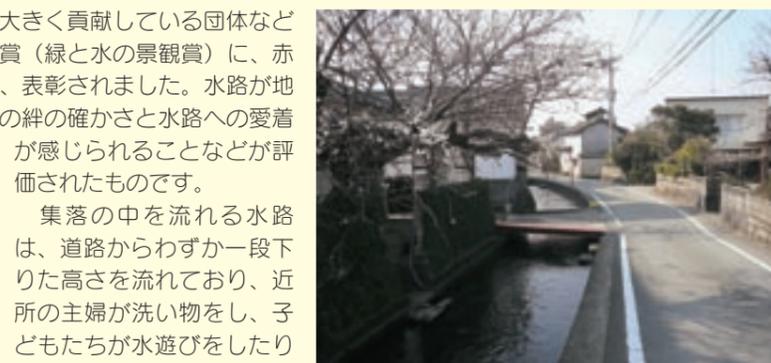


3/5(水) 第20回くまもと景観賞で赤星集落が部門賞を受賞

熊本県内で地域の良好な景観形成に大きく貢献している団体などを表彰する「くまもと景観賞」の部門賞（緑と水の景観賞）に、赤星集落の「水路のある風景」が選ばれ、表彰されました。水路が地域の生活に欠かせないこと、地域の絆の確かさと水路への愛着が感じられることなどが評価されたものです。



赤星集落の中を流れる水路（右写真）と表彰状を受け取る赤星堰管理委員会吉野博臣組合長（上写真）



集落の中を流れる水路は、道路からわずか一段下りた高さの流れであり、近所の主婦が洗い物をし、子どもたちが水遊びをしたりと地域の日常生活にすっきりと欠かせないです。また、年 2 回の地元による除草清掃作業や、毎月 1 回程度のゴミ取りなどが行われ環境維持にも取り組んでいます。

受賞、おめでとうございます。

2/23(土) 旭志地区交通安全推進協議会講演会開催

旭志地区交通安全推進協議会主催の交通安全・防犯に関する講演会が、旭志多目的研修センターでありました。

この協議会は、旭志の小・中学校、旭志管内の交通安全協会、交通安全母の会などの地元団体が組織されているもので、今年度に発足し、子どもたちやその保護者を対象とした交通安全啓発活動を行っています。

講演会では、熊本市尾ノ上地区で「おばパト隊」と呼ばれる防犯パトロール活動を行っている下川邦子さんが「子どもたちの安全を守る活動が、実は自分の生きがいになっている。みんなが元気になってくるんです」と熱心に訴えました。

また、併せて旭志の小・中学校の生徒を対象に行われた「第 1 回旭志地区交通安全標語コンクール」の入選作品の表彰式もありました。54 の作品が入賞作に選ばれ、中でも特に優れた賞に輝いた 4 人が代表して賞状と記念品を受け取りました。

表彰式で表彰された作品は次のとおりです。（敬称略）

会長賞 ちゃんと見て いっぱいのばした 小さな手 下川ひかり（旭志中）

〃 青信号 ふざけてわたると 赤信号 斉藤元樹（旭志小）

菊池地区交通安全協会旭志支部長賞 ヘルメット タスキとブザーで 身を守る 野口真亜子（旭志中）

旭志交通安全母の会長賞 早起きて ゆとりの通学 事故防止 谷口美優（旭志小）



「心の癒しと安全・安心」と題してあった講演会

2/29(金) 私財の寄付・寄贈者を表彰



表彰された 4 人。左から宮村さん、田村さん夫妻、春田さん

菊池市に多額の私財の寄付・寄贈をされた、宮村光幸さん、田村幸治さん・カシコさん夫妻、春田基八郎さんの 4 人が表彰されました。これは、社会文化の向上発達に関し功績顕著な者に対して、その功績をたたえ、市民の社会文化の向上発達に関する意欲の高揚を図ることを目的とする、市の表彰規則に基づくものです。4 人には、福村市長から表彰状と記念品が手渡されました。

今後、寄付・寄贈いただいたものは「豊かな水と緑、光あふれる田園文化のまち」づくりに役立てられます。

寄付・寄贈、ありがとうございました。

3/1(土) 第3回菊池市わんぱくひろば

菊池市わんぱくひろば（菊池市教育委員会主催・菊池市子ども会育成協議会共催）があり、参加者は心地よい汗を流しました。市内の小学生を対象に行われたもので、18 チーム・約 120 人が参加し、ウォークラリー形式でありました。

2～7 人でチームを作り、菊池市中央公民館前をスタート。市民広場から菊池神社、多目的運動公園、巨公民館、戸崎城址、古耕精舎塾跡、北宮阿蘇神社を回り、菊池市中央公民館まで帰ってくる約 8km を参加者全員が完歩しました。子どもだけのチームや保護者も一緒に参加するチームもあり、中には子どもの元気に負け、大人の方が歩き疲れるチームもありました。

また、運営には菊池市子ども会育成協議会、菊池市青少年育成推進委員会、菊池市体験活動推進協議会、菊池高校、菊池女子高校の皆さんがスタッフとして協力し、大会を支えました。ご協力ありがとうございました。



チェックポイントでゲームを楽しむ参加者